



ガレース®

これでスッキリ!! 麦畑

これらの雑草にシャープな効果を示します。



スズメノテッポウ



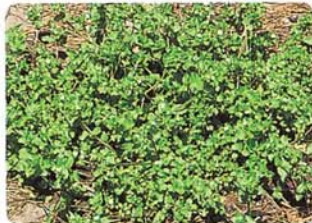
スズメノカタビラ



ナスナ



タネツケバナ



ハコベ



ノミノフスマ



ノボロギク



ヤエムグラ

殺草範囲の広い麦用除草剤

ガレース® 乳剤 G(粒剤)

これでスッキリ!! 麦畑

ガレース[®]乳剤 G(粒剤)

乳剤 農林水産省登録第19638号 ジフルフェニカン…3.7%、トリフルラリン…37.0% 毒性:普通物
G(粒剤) 農林水産省登録第19880号 ジフルフェニカン…0.15%、トリフルラリン…2.0% 毒性:普通物

■適用と使用方法 (2008年10月現在の登録内容)

【ガレース乳剤】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り使用量		総使用回数*	使用方法	適用地帯
				薬量 (mℓ)	散布液量 (ℓ)			
小麦	畑地 一年生 雑草	は種後発芽前 (雑草発生前)	全土壌 (砂土を 除く)	200~250	100	本剤のみ 1回 ジフルフェニカン 1回 トリフルラリン 2回	全面土壌散布	全 域
大麦 (秋播)		は種後発芽前 (雑草発生前)		200~250				全 域 (北海道を除く)

【ガレースG(粒剤)】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り 使用量 (kg)	総使用回数*	使用方法	適用地帯
小麦(春播)	畑地 一年生 雑草	は種後発芽前 (雑草発生前)	全土壌 (砂土を 除く)	4~5	本剤のみ 1回 ジフルフェニカン 1回 トリフルラリン 2回	全面土壌散布	全 域
小麦(秋播)		小麦1~2葉期 (雑草発生前~発生始期)					全 域 (北海道を除く)
大麦(秋播)		は種後発芽前(雑草発生前) 大麦1~2葉期 (雑草発生前~発生始期)					

乳剤・G(粒剤)ともに、*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

■使用上のポイント (効果・薬害)

①麦発芽前処理

ガレース[®]乳剤

200~250mℓ/10a
(水量100ℓ/10a)

または

ガレース[®]G(粒剤)

4~5kg/10a



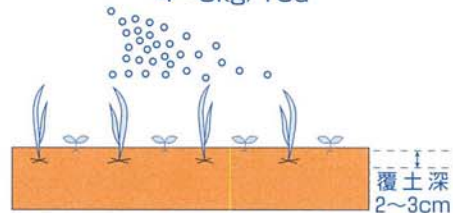
- 使用時期: 小麦・大麦播種・覆土後(発芽前) (雑草発生前)
- 使用方法: 土壌表面に全面均一散布

※ 砕土、整地はていねいにし、覆土は細かく砕いた土とする。 ※ 覆土深は必ず2~3cmとし、鎮圧する。

②麦生育期処理

ガレース[®]G(粒剤)

4~5kg/10a



- 使用時期: 小麦、大麦1~2葉期 (雑草発生前~発生始期)
- 使用方法: 土壌表面に全面均一散布

■ガレース乳剤・G(粒剤) 共通注意事項

- 本剤は雑草発生前から発生始期に有効なので、時期を失しないように散布して下さい。
 - 砕土、整地は丁寧に行ない、覆土深が2~3cmとなるように細かく砕いた土を用いて丁寧に覆土を行なって下さい。
 - 砂質土壌での使用は、大麦に対して薬害を生ずる恐れがありますので避けて下さい。
 - 水田農作の麦類に使用する場合は、排水不良田など土壌が湿りすぎていると砕土や覆土が不十分となり効果むらや薬害の原因となることがありますので、過湿状態での使用は避けて下さい。
 - 秋播の麦類に使用する場合、土壌残効が長いので年内中に散布を終えて下さい。
 - 本剤の使用により、まれに麦の葉身に白化が見られることがありますが、その後回復し、麦の生育、収量には影響が認められていません。
 - 散布薬剤の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害を生ずる恐れがありますので、散布の際には隣接作物にかからないように注意して下さい。特に風の強い時の使用は避けて下さい。
 - 本剤を散布した圃場で後作物を栽培する場合には、耕起を十分に行なって下さい。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
 - かぶれやすい体質の人は、取り扱いに十分注意して下さい。
 - 靴、作業衣などに薬剤が付着すると変色するので、取り扱いに注意して下さい。
 - 本剤散布に用いた器具類は、タンクやホース内に薬液が残らないよう使用後できるだけ早く水でよく洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないように注意して下さい。
- 水産動物(魚類、藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して下さい。
- 使用残りの薬液が生じないよう調製を行ない、使い切ってください。散布器具およ

び容器の洗浄水は、河川などに流さないで下さい。また、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

■ガレース乳剤の注意事項

- 眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 散布液調製時および散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換して下さい。
- 皮膚に付着しないように注意して下さい。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落として下さい。
- 誤飲などのないように注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当てを受けて下さい。
- 自動車などに散布液がかかると変色する恐れがありますので、散布液がかからないように注意して下さい。

■ガレースG(粒剤)の注意事項

- 通常の使用方法では危険性が低いですが、誤食などのないように注意して下さい。
- 本剤は眼に対して強い刺激性がありますので、眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換して下さい。
- 使用量にあわせ秤量し、使い切ってください。

○ラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○小児の手の届くところには置かないでください。

バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室: ☎ 0120-575-078 (9:00~12:00, 13:00~17:00 土・日・祝祭日を除く)